

回、期日	No	校名	男	女	計
第3回 8月11~14日	1	安川	5	4	9
	2	達保	5	7	12
	3	山商	7	3	10
	4	郡白	0	10	10
	5	岩瀬	5	4	9
	6	多農	7	1	8
	7	湯方	5	4	9
	8	四本	1	5	6
	9	小高	3	5	8
			小計	38	43
第4回 8月11~14日	1	二本	5	2	7
	2	福島	0	12	12
	3	ヶ西	0	8	8
	4	白川	5	4	9
	5	船積	1	4	5
	6	安会	4	6	10
	7	会若	10	0	10
	8	内松	6	2	8
	9	相馬	3	6	9
	10	農業	6	4	10
		小計	40	48	88
第5回 8月17~20日	1	飯湖	4	6	10
	2	須賀	3	3	6
	3	川女	0	9	9
	4	工多	4	2	6
	5	須賀	7	5	12
	6	会津	9	3	12
	7	若松	8	5	13
	8	会若	3	2	5
	9	浪江	2	6	8
		小計	40	41	81
第6回 8月18~21日	1	福島	10	0	10
	2	郡山	10	0	10
	3	女子	0	12	12
	4	南会	2	1	3
	5	猪苗	3	1	4
	6	川苗	3	2	5
	7	磐城	1	0	1
	8	第名	4	8	12
	9	小原	1	5	6
	10	相馬	5	10	15
		小計	35	39	75
第7回 8月20~23日	1	福島	0	10	10
	2	梁女	3	5	8
	3	郡山	7	2	9
	4	田村	5	3	8
	5	小野	4	4	8
	6	会津	0	12	12
	7	平工	9	0	9
	8	遠野	2	2	4
	9	磐城	4	2	6
	10	双原	4	3	7
		小計	42	43	85
第8回 8月25~28日	1	保安	6	5	11
	2	積女	0	11	11
	3	山西	7	0	7
	4	郡石	2	5	7
	5	耶麻	2	3	5
	6	会津	10	2	12
	7	若松	0	12	12
	8	会若	10	0	10
	9	磐勿	2	5	7
	10	富岡	0	6	6
		小計	39	49	88
第9回 8月27~30日	1	福島	9	0	9
	2	法福	8	0	8
	3	島一	2	0	2
	4	本島	2	6	8
	5	田宮	4	4	8
	6	喜多	0	12	12
	7	方工	0	5	5
	8	磐城	0	12	12

回、期日	No	校名	男	女	計
	9	小名	5	0	5
	10	相浜	6	0	6
	11	小高	7	2	9
		小計	43	41	84
第10回 8月28~31日	1	福聖	11	0	11
	2	光學	7	0	7
	3	須賀	7	3	10
	4	須賀	4	4	8
	5	多喜	3	3	6
	6	方會	4	4	8
	7	勿來	8	2	10
	8	磐城	0	8	8
		小計	44	24	68

参加校

県立全日制 77校

県立定時制 13校

私立 12校

計 102校

参加者

生徒 803名

指導助言者 103

事務局 33名

工業

9. 講演の演題ならびに講師

演題「私の人生体験」

講師

第1回 福島女子短大副学長 菅野八千代

第2回 福島中央テレビ専務 今泉 正顕

第3・4回 会津女子高等学校長 小林 貞治

第5回 猪苗代高等学校長 高橋 哲夫

第6回 福島高等学校長 池下 泰弘

第7回 福島県知事 木村 守江

第8回 福島県教育長 三本杉国雄

第9回 郡山女子大学長 関口 富佐

第10回 前福島県教育研究所長 長谷川寿郎

10. 研究協議・討議の議題

研究主題

「より豊かな高校生活を送るために、日常の問題にどのようにとりくんでいったらよいか」

第一議題

「学校における生活を、より充実していくために、どのように考え、どのように行動していったらよいか」

第二議題

「社会の一員として、健全な生き方をするにはどのようにしたらよいか」

以上のような実施要項にもとづいて実施されたが、本年度は県立高校全日制全校参加、参加生徒に多大の感銘をあたえたとともに、所期の目的を達成し終了することができた。

このような成果をあげることができた要因は、県生活指導協議会が主催団体の一真として、特にその代表が企画立案に献身的な努力を傾注されたこと、各校から指導助言者として参加された先生方が実施運営に熱意をもってあたられたことである。

今後、反省意見を尊重しながら、改善充実をはかり、より有意義な研修たらしめるようくふうしてゆきたい。